



## 出雲地区森林組合広報

# 「緑のこだま・いずも」



組合員数 8,053人

No.17  
平成19(2007)  
11/15

発行  
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1  
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070  
メールアドレス: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp



## 13カ所で地区座談会を開催

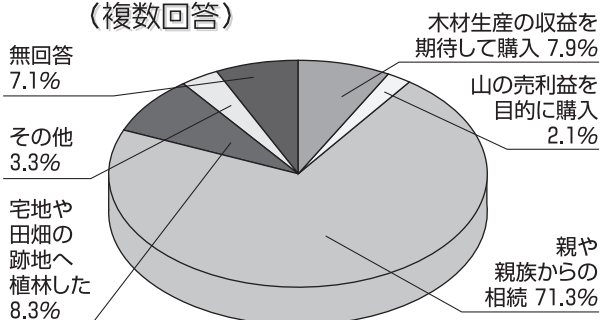
8月1日から管内13カ所で地区座談会を開催しました。

組合員の皆様と役職員が直接対話する場として、平成10年に合併してから、全域での座談会を初の試みとして企画しました。暑い中、足を運んで頂いた皆様には、深く感謝を致しますとともに、この地区座談会は今後も開催したいと考えておりますので、お近くの会場で開催の際には、是非ご参加頂きますようよろしくお願いします。

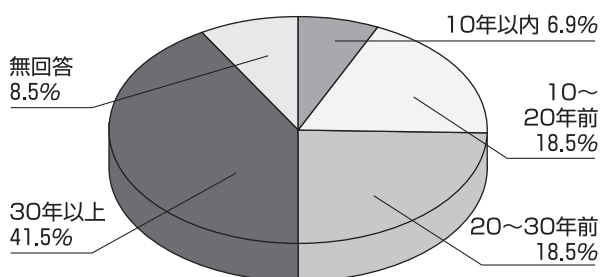
# 平成19年度 座談会アンケート集計

座談会に参加いただいた皆様のアンケートを集計させていただいた結果です。

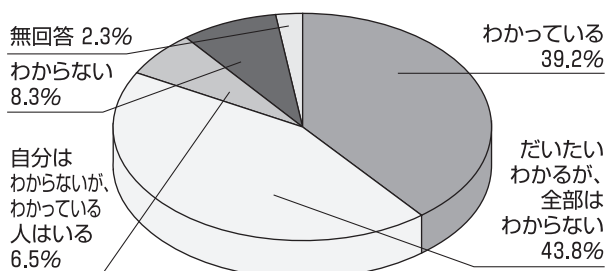
## ♣ 所有の動機や経緯を教えてください (複数回答)



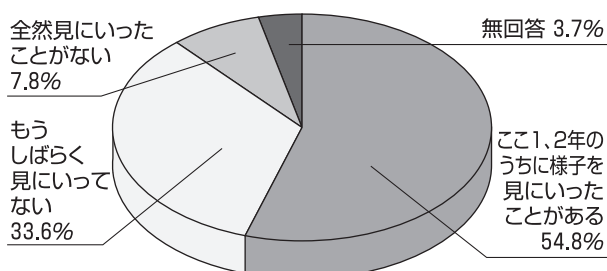
## ♣ 木を植えられた時期を教えてください (複数回答)



## Q2 所有されている森林の境界はわかっていますか？

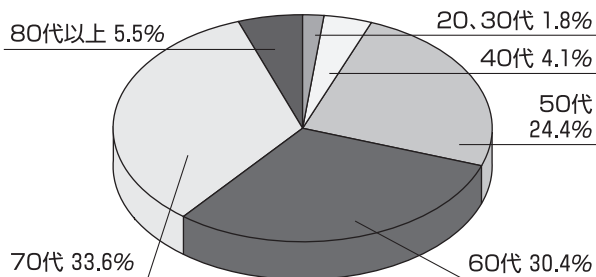


## Q3 最近、所有されている森林を見にいったことがありますか？

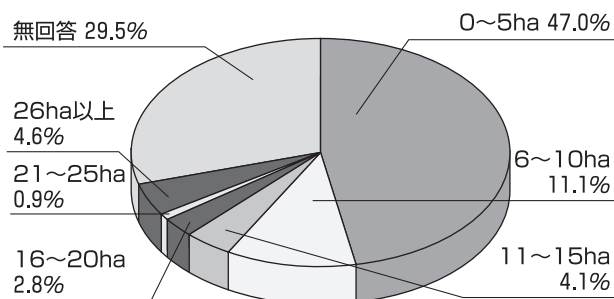


## Q1 あなたとあなたの森林について

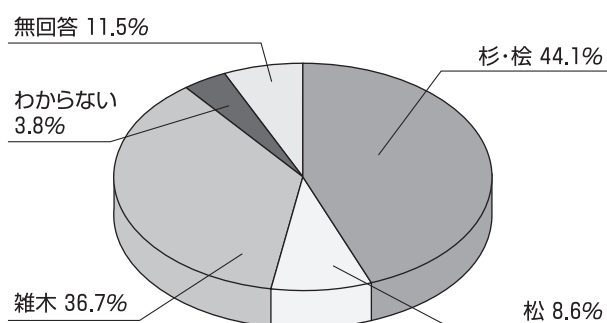
### ♣ あなたの年齢を教えてください



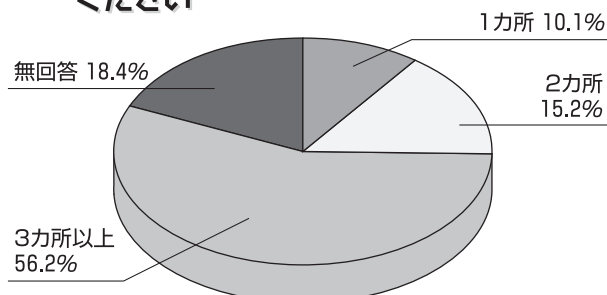
### ♣ 所有されている森林の面積を教えてください



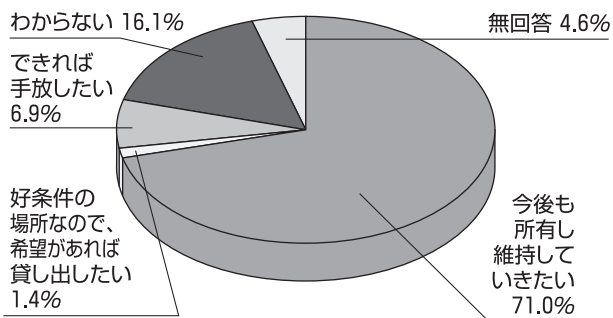
### ♣ 所有されている森林の樹木の種類を教えてください(複数回答)



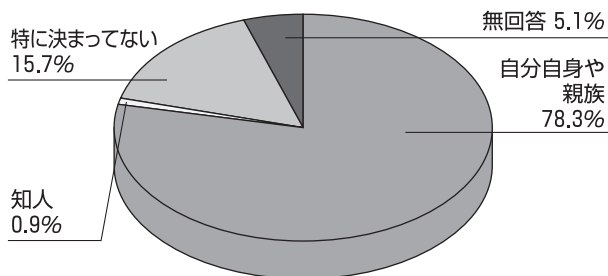
### ♣ 所有されている森林の箇所数を教えてください



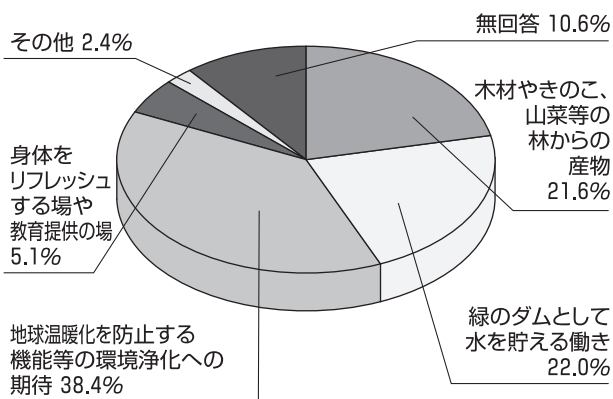
**Q8** あなたは所有している森林を、今後どうしたいと思っていますか？



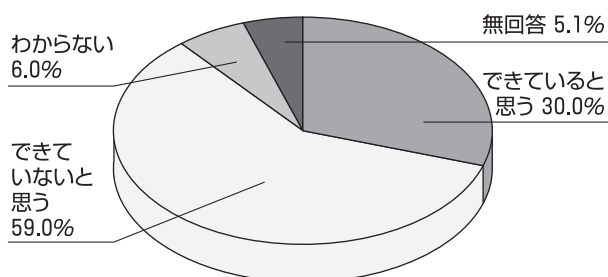
**Q4** 所有されている森林は誰が管理されていますか？



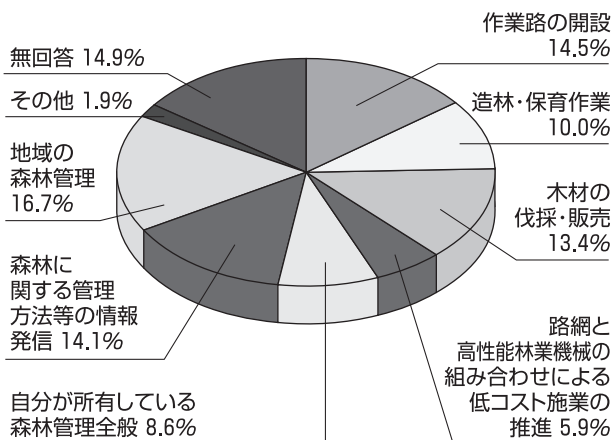
**Q9** 森林に何を一番期待しますか？ (複数回答)



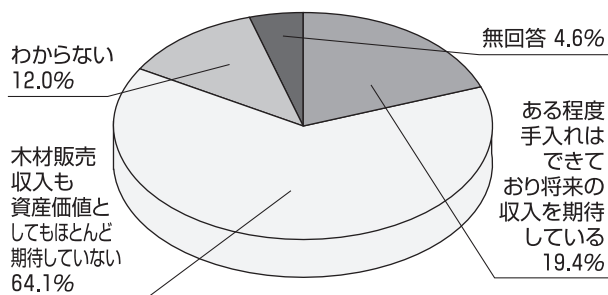
**Q5** 人工林(杉・桧)では継続した手入れが必要ですが、あなたの森林は手入れができていますか？



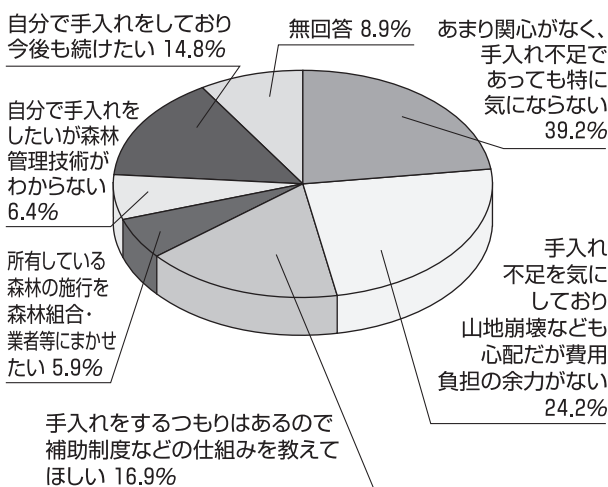
**Q10** 森林組合に何を期待しますか？ (複数回答)



**Q6** あなたの所有されている森林について、収入を期待していますか？



**Q7** 森林の手入れに関して、あなたの考えに近いものを選んでください(複数回答)



**Q** 県民再生の森事業はどれ位の面積から対象となりますか。  
**A** 対象面積は十アール以上（一反）必要です。

**Q** 桜を二十本植えたところ鹿に食べられたが何かいい対策を教えてください。  
**A** 鹿は保護区域が設定してあり、弥山山地についてはかなりシカ被害があります。植えた苗をヘキサチューブで保護する方法もあります。が万全ではありません。造林地では、間伐した杉の枝を使って幹に巻くガード方法もありますが、今のところ小規模の面積であれば防護柵が効果があると思います。

**Q** 抵抗力松苗はどの程度松くい虫に強いですか。  
**A** 松くい虫激甚被害地内で生き残った松の枝を採取し台木に接ぎ木をして、二十年かけ育てた松に線虫をうめこみ、生き残った松だけの種を利用して苗木を作りました。広島・九州の方は既にありましたが、島根は慎重に取り組んでおり、この春抵抗力松の播種を行い、平成二十年度秋の供給にむけて苗木作りに取り組んでいます。

**Q** 潮風に強い木はないですか。  
**A** クロマツは松くい被害にあい杉もダメだったが、広葉樹の中ではツバキ、カシ類（シラカシ、アラカシなど）が強いといわれています。また、来年秋から松くい虫被害に強い抵抗力のクロマツ苗を配付できる予定です。

せる事はできませんがいずれも数に制限があります。百パーセント大丈夫という保証はありませんが、来年の今頃、組合で注文の取りまとめをさせてもらう予定なので植えてみて下さい。

**Q** 防虫剤デゾレートAZ粒剤を使ったタケ・ササ防除の上手な使用方法は。  
**A** 薬剤はタケ・ササの根元だけでなく、周辺まで全面処理（株元を中心に半径二〜三mに広く処理をして、処理部分の枯葉を除去してから散布）をしますが、孟宗竹等の大きなものの密集地につい

## 座談会での意見・質問紹介

座談会での主な意見や質問をQ&A形式で紹介します。



てはm当たり四〇gを目安に散布下さい。また、大きい効果を期待できる方法としては胸の高さくらいに穴を開け薬剤を入れる方法もあります。いづれにしても、注意事項をご確認のうえ薬剤をご使用下さい。

**Q** チップや丸棒の原木は、どれぐらいまとまれば取りに来てもらえますか。  
**A** 大型車（七トン）が入る道があり一台分の量があれば引き取りに伺いますが、少量ならば運賃で材代がなくなる為、自家用車（軽トラ等）で持込んでいただきます。

**Q** 組合で立木の買取りや見積りをしてもらえますか。  
**A** 立木の買取りはしていますが、毎木調査依頼があれば、まず調査を実施します。売買が成立すれば調査費用は不要ですが、不成立の場合は調査費用をいただきます。

**Q** 現在、山林を売りたい人はいますか。  
**A** 現在、山林を売りたい人はいます。組合にたくさん売買の相談がある状況ではありませんが、今後は山林も趣味や健康等多目的な面で購入希望者が増えるかも知れないと思っています。

**Q** 組合単独補助の作業路開設は、業者に施工依頼をした方がいいですか。  
**A** 現在、作業道を開設する場合の補助は、組合単独補助事業の他、今年度から始まる3F事業で対応する事になります。組合単独補助で開設する場合は自分でもちりでも可能です。簡単な切り離しでもよいですが、災害が生じるようなものはやめて下さい。また、保安林は勝手に作業出来ません。作業の為の届出が必要ですから注意して下さい。

**Q** 今回の座談会の際には、組合員の皆様にアンケート・質問等いろいろな参考になるご意見を頂き、ありがとうございます。皆様の声を組合事業等に活かし、運営に反映していきたいと思っています。座談会に限らず、組合への意見等ございましたらお気軽に本所・支所までお問い合わせ下さい。





# 間伐競技会に 出場しました

10月20日(土)、奥出雲町佐白の公社造林地で島根県公社造林推進協議会主催の間伐競技会が、開催されました。

県下より12チーム(2人1組)が参加し、当組合からも2人の若い選手が出場し、互いの技術を競いました。競技内容は装備服装の部と、コースに設置された10本の木を50分以内に安全に伐採する伐倒の部で行われ、各部門の総合得点で順位を競います。

競技が無事終了すると緊張から解かれた選手の実験が印象的でした。

出場選手と成績は次のとおりでした。

**選手** 高橋佑輔さん [斐川町] 22歳  
松浦友樹さん [本庄町] 21歳

**成績** 総合6位入賞  
敢闘賞・アピール賞を受賞

競技会での経験を活かし、今後の活躍を期待します。

## 林業3F事業

フロンティア(開拓)・ファイティング(闘志)・ファンド(基金)

出雲市と出雲地区森林組合及び出雲市内木材関係団体が資金を拠出して、造林事業、森林整備事業を利用した場合などに助成を行います。

### 事業の一例

| 内容                                                | 採択条件                                                    | 補助率又は補助金額                       |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 国、県事業の補助対象外の<br>新植・保育<br>(下刈、枝打、除伐、間伐)<br>及び作業道開設 | 新植・保育<br>樹種：スギ、ヒノキ、マツ、<br>アスナロ、サワラ、<br>広葉樹等<br>面積：10a以上 | 補助率 1/3以内                       |
|                                                   | 作業道開設<br>規格：延長 50m以上<br>幅員 1.5m以上<br>最急勾配 25%           | 補助金額<br>延長(m)×幅員(m)<br>×200円 以内 |
| 森林整備地域活動支援交付<br>金事業対象外の状況調査・<br>測量・製図等境界刈り        | 調査、測量、製図等、境界刈り<br>面積：1ha以上                              | 補助金額<br>10,000円/ha 以内           |
| 既設作業道の整備(草刈、修<br>繕、路面整備)など                        | 既設作業道管理修繕                                               | 補助率 1/2 以内                      |

尚、川下事業では、地域・学校・団体が行う木工教室の経費の助成や地元産木材を利用した住宅の新築を対象に、木材代の助成も行われます。  
事業内容、事業の申請等については、出雲地区森林組合(本所)にお問合せ下さい。

お問合せ先 出雲市役所 農林政策課 森林保全係 TEL 0853-21-6582

出雲地区森林組合 〒693-0021 出雲市塩冶町967番地1  
TEL 0853-22-4433 FAX 0853-22-5070  
E-mail: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp

## 森を再生しませんか

# 「県民再生の森事業」

### まずはご相談を!

島根県では「水と緑の森づくり税」を財源に、人工林の手入れ不足を解消するため、不要木の伐採等に係る経費を支援しています。

**対象林** ○10年以上間伐未実施の36年生以上のスギ、ヒノキ造林地

**内容** ①不要木の伐採(伐採本数3割以上の間伐)  
②上記伐採跡への広葉樹植栽(1ヘクタールあたり50本~300本)  
③上記伐採地へ侵入している竹の伐採・整理など  
※②③は必要に応じて行います。

**実施条件** ○森林所有者・島根県・森林組合などの林業事業者の3者協定を結びます。  
○協定期間は10年間で、その間は全伐採はできません。

**経費** ○交付金で対応し、基本的に「負担無し」ですが、作業条件等により負担が生じる場合がありますので、詳しくは下記までお気軽にご相談下さい。

### 詳しいことはこちらへご相談ください

- 島根県東部農林振興センター 出雲事務所  
林業普及グループ 電話 0853-30-5581
- 出雲地区森林組合 電話 0853-22-4433

## 出雲地区森林組合 総代の改選について

任期満了に伴う総代の改選を次のとおり行うこととしています。  
組合員の皆様には、後日改めて詳細についてご通知いたしますので、ご協力下さいますようお願いいたします。

- ① 現在の総代の任期 — 平成20年2月9日
- ② 選挙期日予定 — 平成20年1月下旬
- ③ 選挙通知及び告知の期日 — 平成20年1月中旬
- ④ 投票開始及び終了時刻 — 午前10時から午後3時
- ⑤ 投票所 — 各地区ごとに一ヶ所
- ⑥ 選挙する総代定数 (200名)
  - 第1区 出雲地区 73人
  - 第2区 平田地区 62人
  - 第3区 斐川地区 6人
  - 第4区 佐田地区 25人
  - 第5区 多伎地区 13人
  - 第6区 湖陵地区 8人
  - 第7区 大社地区 13人
- ⑦ 立候補届・推薦届締切 — 平成20年1月中旬

なお、候補者が定数以内のときは、投票を行いません。又、新しく選任された総代の皆様の任期は平成20年2月10日から平成23年2月9日までの3年間となります。

ご町内の**分別収集用**の  
ゴミ箱にご利用下さい。

### ゴミ箱新型 Aタイプ

W1,000×D760×H900mm  
(BタイプはL=1,800mm)

森林組合では間伐材を使った  
木製品の開発を進めています。  
室内用の小物から外用の木製品  
まで何でもご注文に応じます。  
ご連絡は

**☎48-2103【加工工場】**  
までお願いします。



防腐注入・塗装済

### 組合員の 名義変更のお願い!

相続等により名義が  
変わった時には、出資  
証券の書き換え手続きが  
必要ですので、  
総務課までお申し出  
下さいますよう  
お願いし  
ます。



### あとがき

ついこの前までは、秋の過ぎや  
すさや冬の寒さが本当に訪れるの  
かと、考えてしまうくらい暑い  
日々が続いていましたが、いつの  
間にか朝夕めっきり涼しくなりま  
した。

最近の巷のニュースと言えば「環  
境問題」「いじめ」「偽造」「暴力」  
「ストレス」と負の話題ばかりです。  
そこで思うのが、自然に直接触れ  
合うことで、現代社会の生活で人  
間の失いつつある「やさしさ」「や  
すらぎ」「おもいやり」を取り戻  
すことができるのではないでしょ  
うか。大人も子供も自然の恵みに  
感謝する気持ちを持つことで、先  
に揚げたことの解決の糸口になる  
のではないのでしょうか。  
いま一度、自然(森林)と向き  
合ってみませんか。何かやさしく  
なります。  
Y・T



ダブルレインボー

10月9日(金) PM 4時頃  
斐川から平田方面に向けて撮影